教育のぼりべつ

令和8年
3月3日
No.49
最終号

発行；登別市教育委員会 TEL. 0143-88-1100　〒059-0014 登別市富士町７丁目 33 番地

ゲレンデに子どもたちの声が響く「スキー授業」!!

２月３日（火）、サンライバスキー場で、登別小学校１・２年生のスキー授業が行われました。この日は天候にも恵まれ、子どもたちは班ごとに分かれ、登別スキー連盟や地域のボランテイアが務める講師の話をしっかり聞き、楽しく滑っていました。スキー授業は、２月末までの間、市内小学校の５・６年生（登別小は全学年）を対象に実施され、ゲレンデに元気一杯な子どもたちの声が響いていました。





スキーの指導を受ける子どもたち

「Let's Enjoy! 冬休み英語教室」





１月９日（金）、登別市民会館で中学生を対象とした英語教室が開催されました。

今回は、「初めての海外旅行」をテーマに、ALT（外国語指導助手）と生徒が、店員と客の役になってロールプレイに挑戦。

レストランでの注文やお薦めの尋ね方、ショップでの商品の場所やサイズ・色の相談など、実践的な英会話を学びました。

ALT からは、海外の通貨やチップの習慣といった文化の違いについても紹介がありました。

参加者は、ALT に積極的に英語で話しかけ、楽しくコミュニケーションを取っていました。

姉妹都市の白石市・海老名市と三市交流
登別市で「ふるさとのまちを語る中学生交流事業」

１１月２７日（木）登別市の姉妹都市である宮城県白石市と神奈川県海老名市の中学生訪問団が登別市を訪れ、鷲別中学校にて「学校交流会」が行われました。

白石市立白石中学校・福岡中学校・東中学校、海老名市立海西中学校・有馬中学校の生徒の皆さんから、それぞれのまちの歴史や地元の特産品、観光地のほか、各中学校の行事や取組などが紹介されました。鷲別中学校からは、学校紹介と登別市の紹介をクイズ形式で行ったほか、校歌を斉唱し交流を深めました。

白石市、海老名市の生徒たちは「今回の交流事業を通して、自分たちのまちに興味を持って調べてもらえたらうれしいです」と感想を話していました。



学校交流（海老名市）



鷲別中から校歌を披露

新入生体験会　～　どの部に入ろうかな？

１１月１９日（水）、幌別中学校において新入生体験会が行われました。

幌別小学校６年生の児童は、中学校の授業（音楽と数学）を体験したほか、中学校の学習や生活のきまり、各種行事や部活動などについて、生徒会役員からの丁寧な説明を聞きました。その後、吹奏楽部・バドミントン部・陸上部の活動を熱心に見学していましたが実際に参加することはできず、ちょっぴり残念な様子でした。

登別市では、中学校の部活動が徐々に登別市地域クラブへ移行しており、体験会の開催も予定しています。来年度の市内中学校の入学式は、４月７日（火）に行われます。



音楽の授業体験



部活動見学（吹奏楽部）

認知症サポーター養成講座

認知症の人への対応の心得
１ 驚かせない　２ 急がせない
３ 自尊心を傷つけない

認知症への正しい理解を深めてもらおうと、登別市では、平成２６年度より小中学生を対象とした「認知症サポーター養成講座」を開催しています。今年度は、小学校３校・中学校３校で行われました。１１月２０日（木）に青葉小学校で５年生を対象に開かれた講座では、「登別市地域包括支援センターけいあい」の職員の方を講師に迎え、認知症の方への接し方や家族へのサポート方法を学びました。



講座は、動画をまじえた分かりやすい内容で、子どもたちは真剣な眼差しで取り組んでいました。

講座修了後、子どもたちに受講した証として「サポーターカード」が贈られました。

様々な障害について理解を深めることを目的に

「登別市出前福祉講座」



１１月２７日（木）、登別市身体障害者社会福祉協会会長の今順子さんが講師となり、鷲別小学校の５年生を対象に「出前福祉講座～車いす使用者について学ぼう」が行われました。

今さんは、実際に自分が使用している車両から車いすを下ろすデモンストレーションのほか、普段の生活の様子や市民プールの色々な設備をスライドでわかりやすく丁寧に説明していました。子どもたちは、車いすの補助やスロープでの介助の仕方について説明を聞いた後、実際に車いすに乗り介助体験に取り組みました。最後に社会福祉協議会の方から様々な障害についても説明があり、理解を深めました。



車いすの補助の仕方



スロープでの介助の仕方を実践

『教育のぼりべつ』は本号をもって最終号となります

登別市多文化共生推進事業
令和７年度　中学生台湾派遣交流事業

海外の先住民族の歴史や文化、取組についての理解を深め、アイヌ文化の継承や多文化共生社会づくり等を担う人材の育成を目的とした「登別市多文化共生推進事業」として、今年度は１月４日（日）から９日（金）までの６日間、中学生６名・引率者２名の計８名が台湾を訪問しました。


弓矢体験

台湾では、台湾北部に住む台湾先住民族の一族であるタイヤル族のまちを訪問し、民族の舞踊や歌唱などの先住民文化体験や、先住民の方に集落の中を案内していただき、歴史的な経緯と現在の生活などについて学習しました。

また、台北市内の中学校を訪問し、事前研修で練習したムックリの演奏や、自分たちで制作したアイヌ文様をかたどった切り絵などの記念品交換を行ったほか、現地生徒と一緒に授業を受けたり、給食を食べたりしました。当初はぎこちない雰囲気でしたが、趣味などについて身振り手振りも交えながら話し合う中で打ち解け合い、交流終了時には多くの生徒が見送ってくれました。

生徒たちは身近な文化との「違い」を尊重し、「アイヌ文化との共通点」を見つけるなど充実した６日間になりました。

１月３０日（金）に行われた「帰国報告会」では、生徒それぞれが設定したテーマに沿って学習した内容や、台湾での貴重な体験について発表しました。


九份見学


集落散策



懐生国民中学集合写真


故宮博物院見学


学校訪問・交流


西門町


タイヤル族の民族衣装を着て